

## 「O-SEP\_TM-U-TMDU」が開催されました

2022年3月9日～11日の3日間、各日日本時間午前10時より、学術交流協定を締結している台湾の台北医学大学口腔医学院の歯科技工学科(School of Dental Technology, College of Oral Medicine, Taipei Medical University、以下 TMU)の学生と本学の歯学部口腔保健学科 口腔保健工学専攻の学生による「O-SEP\_TM-U-TMDU」を開催いたしました。

この「O-SEP」は、Online Students' Exchange Program の略で、COVID-19 によるコロナ禍のため留学を含め海外渡航ができない中、渡航に代わる新たな国際交流の取組として歯学部国際交流委員会により企画されています。申請されたプログラム活動の実施状況に対して、歯学部国際交流委員会が一律の活動ポイント(AP: Activity Points)を設定し、自由科目として口腔保健工学専攻では「口腔保健工学エクスターンシップ」の科目単位付与ができるものです。

口腔保健工学専攻では2012年から毎年台湾での海外特別研修を行っており、現在は必修科目「グローバル口腔保健工学実習」として実施しておりした。また、2013年3月から毎年台北医学大学学生を受け入れ、International Exchange program を行っておりましたが、昨年引き続き COVID-19 の影響のため渡航が制限されていることから、本年もウェブ会議システムを用いて開催いたしました。

1日目は、両校の教員の挨拶に続き、両校オリジナルの紹介ビデオの放映がありました。その後、TMU の教員による英語の講義、TMU 学部学生技工室や台湾の歯科技工所のバーチャルツアー、学生による互いの国や大学の紹介プレゼンテーションを英語で行いました。

2日目は、TMU の大学病院紹介や本学教員による英語の講義、本学の歯科技工部や日本の歯科企業、歯科技工所のバーチャルツアーが行われました。午後は「食、音楽、スポーツ、映画、COVID-19 について」のうち1つのテーマについて、7つのグループに分かれて議論を行い、まとめた内容を発表し、全員で共有しました。

3日目は緊張感のある中でカービングコンテストが行われました。両大学の学生が同じ課題に取り組み、45分で1本の歯を彫刻し、本学の学生は2位と4位を受賞しました。

初めは英語でのコミュニケーションに戸惑う場面があった学生も、ランチの時間の交流等も通してだんだんと緊張もほぐれ、盛んな意見交換ができる時間となりました。

今回の交流は、日々の学業へのモチベーションを高める貴重な3日間となりました。次回は現地で直接交流ができることを願っています。

